

日本文藝研究

第五十五卷 第三号

季 刊

『古今六帖』による規範化の一樣相 …… 高木和子…1	——「卯の花」歌を例として——	延慶本『平家物語』横田河原合戦記事 における笠原平五頼直の活躍 …… 平泉佐由子…21	——伊那の源平の攻防を背景として——	国木田独歩『酒中日記』論 …… 弥頭直哉…39	——今藏の日記を読む記者の視点に着目して——	谷崎潤一郎『刺青』論 …… 藤原智子…55	谷崎潤一郎『秘密』論 …… 永井敦子…83	——探偵小説との関連性——	理想とする「歴史小説」 「歴史小説家」のありかた …… 尾添陽平…101	——『蒼き狼』論争における大岡昇平の言説——
----------------------------	-----------------	--	--------------------	-------------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	---------------	---	------------------------

関西学院大学日本文学会

前号 目次

枕草子「少納言よ かうろほうの雪 いかならん」……………	小倉 肇…1
定家に於ける小町歌の受容……………	角 田 宏 子…19
——「近代秀歌」「余情妖艶」との関わり——	
幸田露伴『風流佛』考……………	岡 田 正 子…39
——〈珠連は如何お辰は如何になりしや〉をめぐって——	
夏目漱石『思ひ出す事など』論……………	水 川 景 三…67
——精神と生活と肉体に於けるアイロニー——	
* * *	
中国語における日本語の漢語をめぐって……………	呂 明 臣…1
津軽方言の命令表現……………	坂 本 幸 博…17
——命令形と丁寧命令形および希求（依頼）について——	

編集後記

▼落葉紛々。次に霜。▼耳を澄ませば除夜の鐘。一夜隔てて新歳を寿ぐ日も近し。▼「新年景象入中年」は唐の鄭国。▼齡重ねる「中年」の、怨の声は猿声か。▼甲申の年よ。辛多かれと祈る。▼多くの投稿の中の六編。▼ご斧正乞い願ひ上げます。(森田)

投稿・執筆について

- 一、執筆資格をもつものは、日本文学会会員、『日本文藝研究』購読会員の他、編集委員会が認めたものとする。
- 二、原稿内容は日本文学および日本語を主な対象とし、未公刊のものにかぎる。
- 三、研究論文は四百字詰め原稿用紙換算で三十五枚を目安とする。研究論文以外の原稿については編集委員会に問い合わせること。
- 四、投稿は随時受け付ける。
- 五、原稿の採否は、編集委員会が決定する。
- 六、本誌に掲載された論文などの著作権は著者に帰属するものとする。ただし、関西学院大学日本文学会は、本誌に掲載された原稿を電子化または複製の形態などで公開する権利を有するものとする。

二〇〇二年十月

関西学院大学日本文学会

二〇〇三年十二月五日 印刷
二〇〇三年十二月十日 発行

定価八〇〇円

日本文藝研究 第五十五卷第三号

千六二八五〇一

西宮市上ヶ原一番町

関西学院大学日本文学会

(〇七九八五四一六二八(直通)

編集兼 武 久 堅
発行者

発行所 日本文学会

千六二八五〇一 京都市右京区西院清水町二

印刷所 協和印刷株式会社

TEL (〇七五)三二二四〇二

FAX (〇七五)三二二四〇一

注文規定

御注文は前金にて関西学院大学日本文学会へ御願ひいたします。振替を御利用ください。(振替〇一五〇一七六〇五八五
一年分(送料共)三、〇〇〇円